

鳥取市が行うシティセールスの取組について
広報モニターアンケート調査結果

- 1 調査の概要
- 2 回答者について
- 3 調査結果

令和7年3月
鳥取市企画推進部政策企画課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

鳥取市が行っているシティセールスの取組についての評価を調べるため。

(2) 調査方法

①調査対象

・令和6年度鳥取市広報モニター 100人

②調査方法

・インターネット上に設置したアンケートに回答（広報モニター）

(3) 調査期間

・令和7年3月8日（土）～令和7年3月14日（金）

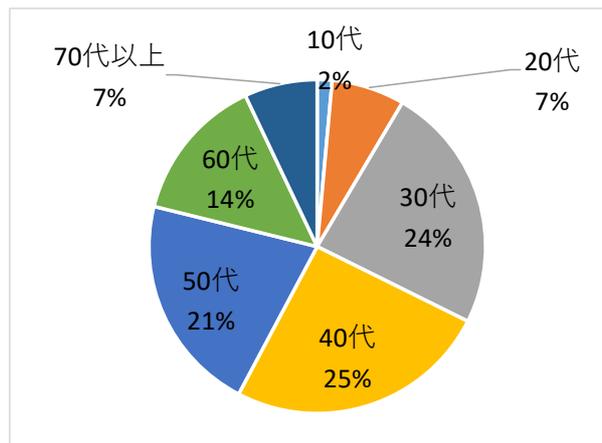
(4) 回答者数

・71人（71%）

2 回答者について

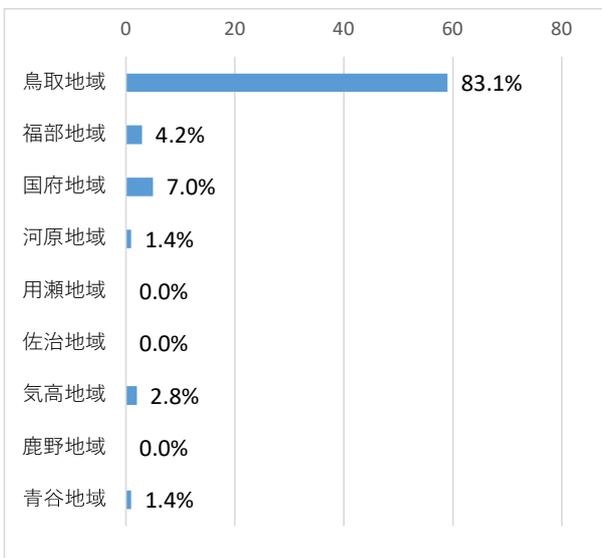
○年齢

	回答者数	回答者割合
10代	1	1.4%
20代	5	7.0%
30代	17	23.9%
40代	18	25.4%
50代	15	21.1%
60代	10	14.1%
70代以上	5	7.0%
合計	71	100.0%



○居住地

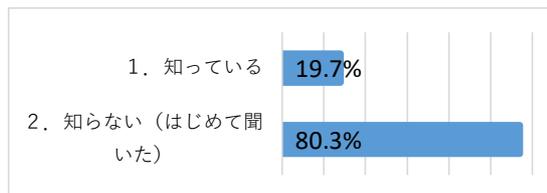
	回答者数	回答者割合
鳥取地域	59	83.1%
福部地域	3	4.2%
国府地域	5	7.0%
河原地域	1	1.4%
用瀬地域	0	0.0%
佐治地域	0	0.0%
気高地域	2	2.8%
鹿野地域	0	0.0%
青谷地域	1	1.4%
合計	71	100.0%



3 調査結果

問1 本市がまちの魅力を発信し、イメージアップや認知度向上につなげる「シティセールス」に取り組んでいることをご存じですか。

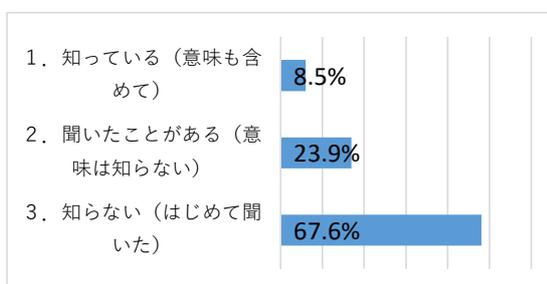
回答	件数	%
1. 知っている	14	19.7%
2. 知らない（はじめて聞いた）	57	80.3%
合計	71	100.0%



問2 本市のシティセールスを効果的に進めるためのブランドスローガン「SQのあるまち」をご存じですか。

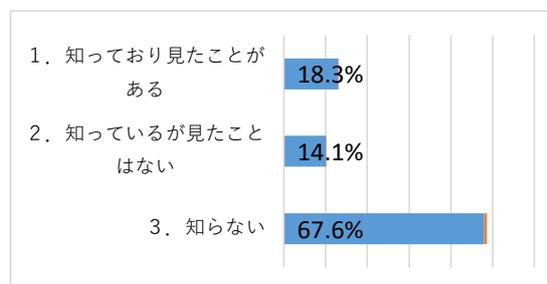


回答	件数	%
1. 知っている（意味も含めて）	6	8.5%
2. 聞いたことがある（意味は知らない）	17	23.9%
3. 知らない（はじめて聞いた）	48	67.6%
合計	71	100.0%



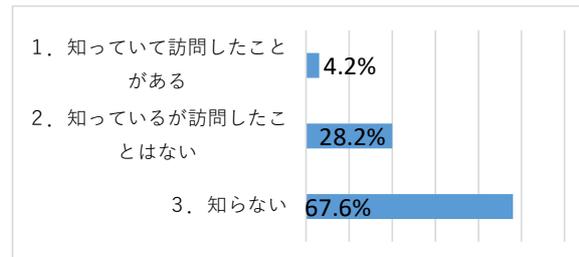
問3 「鳥取市公式YouTubeチャンネル」では、市政情報や本市の様々な魅力等を動画で発信していますが、登録された動画を見たことがありますか。

回答	件数	%
1. 知っており見たことがある	13	18.3%
2. 知っているが見たことはない	10	14.1%
3. 知らない	48	67.6%
合計	71	100.0%



問4 本市が大阪・中之島に「麒麟のまち」関西情報発信拠点を設置し、地元製品のPRをはじめ様々な情報発信を行っていることをご存じですか。

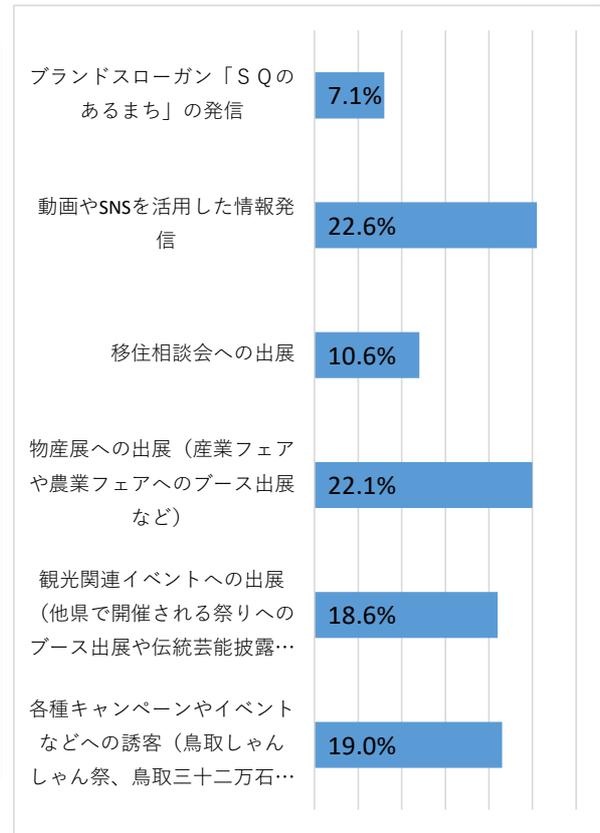
回答	件数	%
1. 知っていて訪問したことがある	3	4.2%
2. 知っているが訪問したことはない	20	28.2%
3. 知らない	48	67.6%
合計	71	100.0%



問5 本市は、食・観光・暮らしなど本市の多様な魅力を、動画やSNSなど様々な手法で発信しています。本市の主なシティセールスの取組みのうち、効果的な取組みであると思うものはどれですか。

※複数回答可

回答	件数	%
ブランドスローガン「SQのあるまち」の発信	16	7.1%
動画やSNSを活用した情報発信	51	22.6%
移住相談会への出展	24	10.6%
物産展への出展（産業フェアや農業フェアへのブース出展など）	50	22.1%
観光関連イベントへの出展（他県で開催される祭りへのブース出展や伝統芸能披露など）	42	18.6%
各種キャンペーンやイベントなどへの誘客（鳥取しゃんしゃん祭、鳥取三十二万石お城まつりなど）	43	19.0%
合計	226	100.0%



問6 あなたが本市のシティセールスに取り組むとしたら、本市のどんなところを魅力として取り上げ、どのような手法でPRしますか。（自由記載）

考えてみましたが難しかったです。砂丘と漁火が綺麗だなとも思いますが、宿泊施設は作られる予定ですし、ただ、宿泊客に向けて夜の砂丘を散策できるイベントがあると面白そうだなと思います。今年初めて安蔵スキー場に行きましたが、雪道が不安でも安全な道で時間もそんなにかからず行くことができたので、穴場スポットとして留めておくのは勿体ない気がしました。子連れ家族中心にもっとPRしてもいいのではと思いました。クーポンや割引があると行きやすいと思います。道中に手軽な温泉施設があると最高です。

子どもの医療費無料など子育て支援に力を入れているところ

1. 鳥取砂丘を中心とした自然の観光：
動画やSNSを活用してPRする。隣接地に集客能力の高いイベントホールやコンサートホールを設置する。砂丘でコンサート等のイベントが開催できるように検討する。砂丘を核とし日本海や鳥取港、コナン空港と連携してさらにアミューズメント性の高いエリアを作る。

青谷や鹿野の田舎の方におしゃれなカフェやスイーツ屋さんが増えてきているので、自然と一緒にスイーツを撮ってsnsに映えるような写真をアップします。

国民のほとんどが知る鳥取の代名詞『鳥取砂丘』を軸とした展開。

名探偵コナンが大好きなので、コナンに関する観光スポットの魅力を全面的に取り上げて、リアル脱出ゲームや謎解きゲーム等をしながら観光地を巡るようなイベントでPRしたらいいと思う。

サイトで発信する。

関西圏の大きめのイベントにブース出店。食べ物PR。地元出身有名芸能人で集客。

シティセールスという言葉が聞きなれないので誰でも分かる簡単な言葉の意味を付け加える。個人的にテレビで見る鳥取アピールのCMが好きで、それと紐付けたポスター作成やチラシを配ってみる(幼稚園、保育園、小中高や大学、地元住民から理解してもらう)また鳥取ならではの星取県・蟹取県・砂丘(大きな砂場)をメインにした発信(SNS)を増やす。

県外の親戚へのお土産は、いつも鳥取の新鮮な魚にしています。時には、ねばりっこ、星空米、白バラの乳製品等も。二十世紀梨は毎年必ず送ります。豊かな食が一番の魅力だと思います。心が解放される自然豊かな観光地が多くありますが、雨が降ると行ける観光地が本当に限られてしまうのが、残念です。

若い人には、今のようにインターネットを使った発信がいいと思います。ネットに不馴れな人、長距離運転が苦手な人等に、読売旅行等、団体のバス旅行の企画が多く組まれると、鳥取に来やすくなると思いますが、どうでしょう？観光地を回り、三朝、皆生等の温泉につかり、美味しい食事でゆっくり過ごす、思わず、二泊三日のコースを一人で考えてしまいました。しゃんしゃんまつりを体験し、観覧するツアーもいいかもと思いがどんどん膨らんできました。

鳥取の観光名所のPRや、地元の特産品、食が一番魅力だと思います。砂丘付近にできる新しいホテルも魅力的だと思います。

砂丘と海と湖山池等自然を取り上げ、見て触れて休日を過ごすショート動画をYouTubeで紹介する。

鳥取は自然豊かな街ですが、その自然は実際に触れて楽しめる自然豊かな街である事をPRする事が重要だと思う。

海は海水浴したりサーフィンしたり魚釣りやカヤックやシュノーケリングなどで楽しめるし、砂浜を散歩したり夕日を見たり。山は登山したり山菜採りやスキー・スノボや紅葉を楽しめるし、海も山もキャンプなんかもできる。そんな自然がすぐそばに有って楽しめる様子を伝えるべきだと思います。

鳥取は海、山、川、星など自然が身近にある環境が魅力だと思います。海水浴を楽しんだり、紅葉があったり、雪遊びをしたりと子どもたちが四季を感じて日常生活を送れていることはすごく恵まれた環境だなあと感じています。また、季節ごとの食材も豊富で肌でも味覚でも四季を感じることができるのは大きな魅力だと思います。県外の子育て世代向けに子どもと楽しむ観光や飲食施設を発信するInstagramやYouTubeの開設、また県外向けのフリーペーパーの作成などがいいかと思いました。

SNSを使って、著名な鳥取のゆかりのある人も出てもらい、鳥取砂丘、カニ、鳥取和牛、鳥取地どりピヨなど美味しい食べ物から発信したい。

本市出身の芸能人を採用したPRで、若者に見てもらう。

自然がいっぱいでのんびり過ごせるところをsnsでアップする。

食・自然・歴史・・・鳥取市の周りの市町とも連携した広範囲でのアピール。

自然豊かなところ。海も山もあり、キャンプやスキー、サーフィンなどのアクティビティが気軽に楽しめる。海の幸、山の幸のおいしい食材も手軽に手に入り、関西圏へのアクセスも良い。空港もあるので東京への行き来もしやすいところを動画でSNSに発信する。

自然豊かで温泉もあって住みやすい所を一度体験できるプランをたてる。

○魅力…自然の近さや様々なアクティビティによる充実した余暇

○ターゲット…20代の若者

○PRの手法…Instagramやインターネット

美しい自然や治安の良い安心して暮らせる街づくりを、市民みんなで実践する。
衣食住すべてにおいて、満たされるまちだと思っている。若い世代の地元離れが多かったり、インバウンドをさらに進めていくためにもインフルエンサーや芸能人を前面に出しながらSNSやテレビ等で発信すること。
イベントで鳥取のチラシと共に鳥取のグッズなどを渡したり、YouTubeを使った鳥取の観光地、食べ物、旬の祭りや、田舎だから味わえる事(例えば、夜空を見ながら大山でキャンプ、岩美の松島遊覧、雪でかまくらを作って、その中でご飯を食べるなど)鳥取でしか味わえない事を、ネット配信しながら紹介する事、あとはコナン、海外からも来てもらえるよう、コスプレや、体験イベントなどの開催、コナン砂丘鳥取空港を活用した謎解きクイズラリーイベントや、コナンで使われたアニソンのコンサートなど、鳥取に行ってみたいと思わせるイベントはたくさん作れると思うので、そこを活用してイベントを開催しPRします。あとは鳥取のアナウンサーだけでなく鳥取出身の芸人、芸能人を出演させて紹介してもらおう(鳥取県立美術館でイメージキャラクター?になっているTT兄弟、ガンバレルーヤなど)面白おかしく紹介してくれる人に出演してもらって、より身近に感じて行ってみたい気持ちを高められると思います。昭和感の残る街並みや風景、都会で味わえない景色、海、山、田んぼ、汽車や無人駅、こんな所も鳥取の魅力になると思います。不便だから、時間をかけて楽しめるものを感じて、ゆっくりした時間を過ごせると思います。
SNSで発信。
鳥取市しかない魅力を全面的にSNSや新聞などで発信していけば若者や高齢者に浸透していくのではないかと思う。
砂丘や青島、佐治など様々な場所で年間を通して星をテーマにしたイベントを行う。
ヨットに乗ったり気球に乗ったりして、普段見えないところから見る砂丘や祭りをみられるようなこと。
シティーセールス、SQのある街など全く知識がなく、鳥取市についてSNSで発信していることも知りませんでした。 PRする手法としては、やはりSNSが有効だとは思いますがどのような内容で魅力を伝えたら、たくさんの方に見てもらえるかは案がありませんm(_ _)m
食がおいしいところ。
美味しい食べ物を取り上げる。食欲をそそる短い動画を作成すればいいと思う。
名産品と観光地のPR
観光名所
食のみやこ
自然の魅力。Instagramでの発信。人口が少ないが、だからこその住み良さ。
海と山と自然にあふれた風景。

鳥取市は県庁所在地でありながら、日本有数の観光地（鳥取砂丘）や温泉といった観光資源と国立大学が車で20分以内で行けるコンパクトさがあり、駅と空港も近く交通の便が意外と良いところ、また海や山、日本一の大きさの池があるという、自然環境の良さが魅力だと思います。一方で動画やSNSを活用することは、一部の人しか見ない恐れもあり、手軽で初期投資が少ない事が、かえってPR不足を招くような気がします。

シティセールスをするターゲットは誰なのか、詳細に分析をするところから始めるべきではないでしょうか。方向性が定まっていない状態で市民の声を聴くことは、かえって何も生まれないと思います。

まだまだ開拓しがいのある駅前。大きな映画館の誘致を…

先日、姫路市に行き観光してきました。鳥取市と姉妹都市なのでお得なのと、今まで行かなかった場所に行き、姫路の方もようこそと受け入れてくれて思った以上に楽しかったです。鳥取市でいて良かったなと思いました。逆に鳥取市も砂丘以外にも、いろんな場所紹介、またこういうイベントをする事で鳥取市の魅力発信も出来るのではないだろうか。いろんな場所で数も増やして、様々な事をして欲しいと願います。

砂丘は一度行ったら満足される方が多いように感じるのです。

自然豊かな鳥取市でしている取組や子育て支援について出来る限り詳しく、インスタグラムや市報、様々な情報配信方法で多くの方に知ってもらおう。

色々な地域の美味しい物や口コミ、特産物の本をつくる。

鳥取といえば、、、県外の方なら「砂丘、コナン、海鮮物がおいしい（蟹とか）、海が近くにある」と言ったものが聞かれます。都会から来る方の魅力の一つとして子ども関連が良いかと思えます。なぜかという、食べ物であれば関東から来る人は兵庫にも魅力的な食べ物がありますし、コナンに関しても鳥取市ではなく倉吉なので、鳥取市で考えるのであれば、子育てのしやすさ、子どものイベントの豊富さ、海や山、公園があることの自然の豊かさ、夜には星が綺麗に見えること、を魅力にするのが良いと思いました。

県外から来る友達に聞いてみても、子どもと一緒にくるので広い敷地の公園にびっくりしています。大山や布勢公園など、子どもが騒音や怪我の心配がないほど、走り回ることができます。あと、駐車場に無料で停められることもびっくりしていました。都会であれば公園に行くにしても駐車場代がかかるみたいです。子供と一緒に楽しく！お得に！自然に触れ合える旅行ができるイベントや取り組みはどうでしょうか。

住みやすさ、空気感

鳥取城跡地に木造の宝珠橋があり、現存する資料を元に復元再生したので、全国的に見て歩いて渡ることができる貴重な橋だとアピールできると思います。

人口は少ないですが、市役所の職員と市民の壁がなく気軽に相談しやすいと思います。

豊かな食を魅力として取り上げ、食のイベントを現地も含め各地で開催。

また、ふるさと納税において若桜町のように市内に来てもらい市内での消費を促す返礼品でPR。

鳥取市には市街地内から郊外にまで複数の天然温泉があり、それらの魅力が観光客に十分に伝わっていないように感じる。

アクセス用のバス路線の利用法などを確立した上で、「湯めぐりスタンプラリー」等として設定し、全周達成者に限定性の高い（地元特産品詰め合わせ等）、またはカニなどの達成感に繋がる記念品を準備することで、バス利用者・温泉利用者の増加と、泊りがけで挑戦する方々による宿泊客の増加にも効果が出るのではないかと思う。

海も山も近い距離にあること。とにかく自然が美しいところ。綺麗な景色をSNSで発信する。
SNSで出てくるようにしたいです。やり方しらないですけど。
海あり、山あり、東京から飛行機で1時間。季節毎に旬なメニューを明確化。東京、大阪などアクセス方法に応じてPR手法を変える。
イベントや祭りのアピールでは、年間に数回のアピールとなってしまいそうなので、あえて何も無く、ただただ田舎である事を逆手に取ったアピールも楽しいのでは？ 空き家を活用した、短期の自炊田舎暮らしや、かき餅つくりや、田植えや稲刈りなどのイベント。またはジビエの捕獲から料理までのイベントなど。
よく知られている魅力は、場所としては言わずと知れた鳥取砂丘、食としてはカニや鳥取和牛、二十世紀梨などがあると思います。 具体的に様々なテーマで鳥取市を巡るプランを考えてたり、車で来た人向け、電車で来た人向け、バスで巡れるコースなどを考え、SNSを活用して発信して行くのがいいと思います。 また、鳥取県全体になるかも知れませんが、人口が1番少ないというのも魅力として、人口・農業・子育て制度・駅前など、住んでると当たり前なことを様々な県と比較して、面白く楽しく情報発信するのも面白いかと思っています。
温泉、カフェ、砂丘、グルメについて、InstagramなどのSNSでPRします。
主婦目線で鳥取市での生活を天気や出かけて体験したことや日常をTwitter(X)でつぶやきます。
魅力としては、食べ物がなんでも美味しい。海鮮もお野菜もお肉もとにかくなんでも美味しい。トリピーが可愛くて知名度もあると思う。平井知事が有名。 PRはYouTubeよりも、InstagramやTikTokのほうが効果的に感じます。
街の中でも自然があり 少し郊外へ行くだけで大自然。SNSへの積極的な投稿。
砂丘や海や鳥取ならではの美味しい食べ物をPRしつつ、地元の長年愛されているお店などの商品の紹介や地元の人声や経営理念や思いなどを発信できたら魅力をより伝えていけるのではないかと思う。
鳥取出身の芸能人にアピールしてもらおう。
砂丘に頼らず、様々な自然や史跡、食の魅力をあらゆる媒体・SNS・イベントで発信する。商店街や若者（学生など）も巻き込んで取り組む。

核となる魅力

1. **動物福祉先進都市**

- 動物の権利と福祉を尊重（牛やカニなど苦痛を感じる生き物を食べ物としない倫理観）

2. **人が少ない贅沢な環境**

- オーバーツーリズムがない静かな観光地としての価値
- 「人口の少なさ」を強みとした「ゆとりある生活空間」

3. **AI行政の先進地域**

- 世界に先駆けたAI窓口サービス、AIエージェントの部分導入

実現するPR方法

1. **わかりやすい言葉での情報発信**

- 大人にも伝わりにくいSQという標語を廃止し、誰にでも理解しやすい表現を採用

2. **デジタルとAIの活用**

- VR鳥取砂丘体験や投入堂バーチャルツアー提供

3. **無理に売り込まない「静かな魅力」発信**

- 共感を呼ぶ価値観の発信
- 動物福祉や静かな環境を求める人々をターゲットとする

YouTubeやTikTokなどSNSに砂丘や海などの綺麗な動画をアップ。

しゃんしゃん祭りなどのイベント動画をアップ。

【魅力として取りあげる点】

- ・自然豊かで住みやすく、新鮮で美味しい食材が豊富で安く手に入る
- ・夏は海での海水浴やサーフィン、冬は山でのスキー、スノーボードが、現地まで時間がかからず楽しめる
- ・車での移動の際も、渋滞がほとんどなく、駐車場も大部分が無料。
- ・鳥取道、山陰道の自動車専用道路も無料で通行できる

【PRする手法】

- ・動画・SNSでの著名なインフルエンサーを活用して情報発信を行う

美味しい食と自然を多言語でインスタ発信。

やはり鳥取市にしか無いものを取り上げるべきだとは思いますが。ありきたりだと交通の便や認知度の高い方に足を運ばれてしまうので。

PRは現地を訪れた人がSNSに挙げたくなる方法を考えるべきだと考えます。

加えて鳥取市出身の有名人に長ーく鳥取市を話題にさせていただくとか。

米子市でしたら松本若菜さんがことある事に米子の話題を出してくださってますし。ただ、松本さんは郷土愛からくるものだと思いますが…。

鳥取でしか味わえない食をアピール。モサエビや新甘泉など、著名人やYouTuber、アニメやポケモンとコラボして発信する。

鳥取市は、自然豊かな街だと思う。でも、豊かな自然、似たような風景は鳥取以外にも沢山ある。そのなかで、鳥取唯一の魅力は何なのか自分自身わからない。そういうものをもっと、深め発信していく必要があると思う。

PRとしては、やはり、今は動画配信が有効かと思う。

住んで安心。食べ物が美味しい。自然満載。

手法：継続したCM。継続したSNS活用。

今のイメージは自治体の方が自己満足で一過性の感じ。

自然の豊かさ。海のきれいさ。移住の助成金+PR動画で自然の豊かさ+生活費が安い。
伝統的な麒麟や傘踊り等の魅力、紹介。 過ごしやすさ。人のぬくもり。観光場所。などなど？
最近、若い世代がIターンまたはUターンで 起業し店舗を構えているのを良く目にする。 例えば、田舎の山道を上がって行く店舗などは一昔前ならアクセスが悪いと不人気になりがちだったが Webによる検索が普通になったことで 田舎の山道さえもが魅力となり、顧客を集めている。 せっかくある古い町並みや田舎っぽさをプラスにしてアピールして欲しい。 個人的には、本市はコンパクトシティなので本当に住み良いと日々実感している。移住者に、そこをアピールしたい。
自然豊かで、人の混雑も少なく、関西圏へのアクセスもしやすく、住みやすいところだと思っています。実際の移住者の目線から鳥取市がどんなふうに見えているのか（移住したことでの生活、趣味の変化など、、？）ショート動画なので発信できると若者の目にとまりやすのではないかと考えたりもしました。
住みやすく、生活しやすいこと。
大阪に住んでいたが、鳥取の観光PRを見た事がない。鳥取は、宣伝が下手と言われるが、納得できる。

問7 これまでの質問を踏まえ、鳥取市が行っているシティセールスの取組みをどう評価されますか。

回答	件数	%
1. 評価できる	10	14.1%
2. やや評価できる	40	56.3%
3. あまり評価できない	17	23.9%
4. 評価できない	4	5.6%
合計	71	100.0%

